

平成 21 年 4 月 30 日現在

研究種目：基盤研究（C）
研究期間：2006－2009
課題番号：18520542
研究課題名（和文） 近現代南アジアを焦点とした商業・商人文書の研究
－広域ネットワークとその地域接合－
研究課題名（英文） Merchants and their Commercial Documents in Modern South Asia
: Intra-regional Network and its Linkage with Regional Society
研究代表者
大石 高志（OISHI TAKASHI）
神戸市外国語大学・外国語学部・准教授
研究者番号：70347516

研究分野：南アジア近現代史 環インド洋世界社会史
科研費の分科・細目：史学・東洋史（南アジア史）
キーワード：インド、環インド洋世界、商人ネットワーク、ムスリム、植民地統治

1. 研究計画の概要

本研究は、インド内及びインド洋周辺海域世界、さらに東アジア（日本を含む）に広域ネットワークを拡張したインド人商人（特にムスリム）を取上げ、その経済的活動のみならず、滞留・定住先の地域での社会・宗教的活動や政治的関与などを、調査・分析するものである。本研究の概要は、以下ようになる。

(1) イギリスや日本などの帝国や植民地体制が提供した商業権益に関わる情報や通信、通貨、財産管理などの諸インフラを、こうした在来商人がどのように自己の広域展開のために活用したか、という制度史的な視点を重視している。

(2) 新しい歴史史料の探求を進める。具体的には、商標や意匠、特許、営業ライセンスなど、商業・工業上の知的所有権に関わる登記資料などを体系的に収集するほか、口述資料も重視する。

(3) 19－20 世紀前半における西欧植民地体制のアジアにおける展開を、在来商人資本の戦略と動態の文脈で再検討することを、大きな目標として設定している。

2. 研究の進捗状況

(1) 本研究で特に重視しているのは、南アジアや環インド洋地域を舞台にして広域ネットワークを拡大したインド人商人の動態を捉えるための、新しい史料の発掘や方法論の提示である。この点に関して、本研究は、これまでの期間に、英領インドや海峡植民地、蘭領インド、香港、日本などにおいて徐々に施行された商標や意匠、特許、営業ライセンス、会社組織、譲渡、寄進などに関わる諸制度とそれらに付随する登記資料などの所在

を明らかにし、それらを系統的に収集する作業を進めてきた。

(2) 本研究では、インド人商人が関係した様々な製品、特に、軽工業製品雑貨に研究上の焦点を収斂させ、そうしたモノの製造や流通に関わる制度的な構造や、消費に関わる政治・社会・文化的な動向を分析してきた。これまで、燐寸（マッチ）をはじめ、メリヤス、ガラス、セルロイド、自転車などの製品を、分析対象に据えてきた。

(3) 本研究では、インド人商人関係の同業組合や地縁組織、そして、個別の企業家の子孫を歴史的に辿り、私家文書や口述記録を収集・蓄積させることも目的の1つとして掲げてきた。この関係では、上記(2)に掲げたような製品に従事したインド人およびそのパートナーの日本人企業家を、インド、マレーシア、シンガポール、日本で訪れ、集中的に記録を蓄積させつつある。

(4) 日本のみならずアジア（インドやマレーシア、韓国）、ヨーロッパ（オランダ、フィンランド）などの海外で開かれる学会や研究大会、国際ワークショップで、研究を発表し、徐々に、雑誌論文などに掲載しつつある。

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している

評価：研究課題に掲げたインド人商人やその経済・社会活動の歴史研究に関して、新しい資料に基づく実証研究の可能性を、研究論文や国際的な学会等の発表の場で示すことが、十分、行われている。

4. 今後の研究の推進方策

最終年度である今年度は、これまで同様に、

歴史史料の探求と研究成果発表を積極的に図りたい。例えば、8月には、ベルギーで開催される学会で、インドと日本の間でガラス製品の貿易や生産技術移転に関わったインド人事業家について報告を行う予定である。また、学術刊行物のかたちでの研究成果の発表を、さらに意識的に行う予定である。

5. 代表的な研究成果

[雑誌論文] (計 6 件)

①大石高志「歴史研究の変化と展望：分散、拡散、還流のなかの地域像をもとめて」『南アジア研究』(日本南アジア学会編) 20号、2008年12月190-207頁 査読有

② Takashi OISHI, Aspects of Labour Intensive Economy around Bicycles in Modern India with Special Focus on the Import from Japan 京都大学G-COE「生存基盤持続型の発展を目指す地域研究拠点」ワーキングペーパー 2009 March 1-24頁 査読無

③ Takashi OISHI, “Indian Muslim Merchants in Mozambique and South Africa: Intra-regional Networks In Strategic Association with State Institutions, 1870s-1930s,” *Journal of the Economic and Social History of the Orient*, Leiden, Brill, Vol.50, No.2-3, 2007, pp.287-324. 査読有

④大石高志「インドにおけるマッチ産業と女性・児童の労働-矮小化と弾力性の表裏関係」『外国学研究』神戸市外国語大学66号2007年77-105頁 査読無

⑤大石高志「繋がり、広がり、逸脱-インドにおけるムスリム皮革・食肉商工業者のネットワークとその恣意的読み替え」『現代思想』(特集イスラームと世界-衝突か抵抗か) 青土社 34巻6号 2006年5月 212-229頁 査読無

[学会発表] (計 9 件)

① Takashi OISHI, Intra-Asian Diffusion/Mobility of Labour Intensive Economy: Focus on Matches and Glassware 京都大学 G-COE「生存基盤持続型の発展を目指す地域研究拠点」国際会議 Labour-intensive Industrialization in South and Southeast Asia 2008年12月20-21日、京都大学東南アジア研究所

② Takashi OISHI, Japanese Business Sojourners in Calcutta: Living the Business, City, Empire and Networks. 国際会議 Migration, Diaspora and the City: Mobility and Dwelling in Calcutta (社会科学研究所とロンドン大学との共催) 2008年12月12-13日 インド国 コルカタ市 Centre for Studies in Social Sciences

③大石高志「インド系ムスリム商人と東南アジア：広域ネットワークの地域接合とその歴史の変容」第53回 国際東方学会議(部会「近代における東南アジアのイスラームとインド洋ネットワーク」) 2008年5月16日、日本教育会館(東京)

④ Takashi OISHI, “Intra-regional Network and Trust: Indian Muslim merchants over to East Asia, c.1890-1950.” The European Social Sciences History Conference, ポルトガル国リスボン市, 28 February 2008.

⑤ Takashi OISHI, “Dynamics of Niches carved out by Indian Muslim Merchants in the Trade with Southeast Asia: Betel-nuts on the Intra-regional Networks, 1880-1940s.” ICAS(International Convention of Asia Scholars) 5, マレーシア国クアラルンプール市 Aug.2-5, 2007.

⑥ Takashi OISHI, “Comparative Perspectives on Indian Merchants’ Intra-regional Networks: A Review from the State and Big Business.” 14th International Economic History Congress, フィンランド国ヘルシンキ市 24 August 2006.

[図書] (計 4 件)

①大石高志「インド人商人のネットワーク：広域秩序と雑貨食糧品ビジネス」遠藤乾編『グローバル・ガバナンスの最前線：現在と過去のあいだ』<学振選書>東信堂 2008年222-242頁

② Takashi OISHI, “Hesitant Touch: Diaspora Networks of Indian Muslim Merchants and their Linkage with Homeland, 1870-2000” *International Conference on Globalization and Diasporas*. A proceeding edited by Research Team for Indian Diasporas, Channam National University, Korea, 2007. pp.13-28.

③ Takashi OISHI, “Differentiated Consumption of matches in Modern India: Interaction between Marketing Strategy and Preferences”『インドにおける消費パターンの変化と中小・在来産業の展開：1860-1950年』柳沢悠編 2007年41-80頁

④ Takashi OISHI, “Political Configuration of Match Label Designs in Modern India: Merchants’ Network, State and Nationalism.”『アジア諸社会におけるエリートネットワークと文化表象-比較研究の試み』中里成章編 東京大学東洋文化研究所 2006年95-114頁

[産業財産権]

[その他]